

# 特定医療法人和風会 中島病院

中島弘文



## 沿革

当院は1878年(明治11年)に初代：中島大次郎が津山市高野本郷で「内外医術院」として開院し、1917年(大正6年)に二代目：琢史が「私立中島病院」として津山市田町へ移転し、現在に至っています。144年と言う長きにわたり津山市で医療機関として存続できているのは、かかりつけ患者からの愛情、地域住人の理解、近隣の医療および介護や行政機関からの支援、そして過去から現在までの全職員のたゆまぬ努力の賜物であると考えられます。

## 現状

現在は110床の内科専門病院であり、急性期病床(看護師配置基準7対1)が55床、地域包括ケア病床が20床、医療療養型病床が35床となっています。入院病名では呼吸器疾患が28%と最も多くなっていますが、悪性疾患も16%と徐々に増えてきています。療養病床を有するために様々な疾患の終末期医療を担っており、過去には年間200名を超える方を

看取らせて頂きました。今後も地域の医療情勢に応じて病床数や病床の機能変更を行うこととなります。

外来の通院患者数が病床数からみると比較的多いことが特徴であり、年間患者数は約8,000名と徐々に増加しています。その中でも糖尿病患者は約1,800名、骨粗鬆症が約1,000名などとなっており、生活習慣病や高齢症候群に対する治療を積極的に行っています。外来通院患者が多いことを反映して入院患者の60%がかかりつけ、10%が救急搬送、30%が紹介です。かかりつけ患者を大切にしながら、紹介をして頂ける医療・介護機関との連携を強化していかねばなりません。訪問診療にも対応しており通院が困難となった在宅患者への支援も行っています。

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)流行前の病院経営上の問題は人口減に伴う患者減と労働力減であると考えていましたが、これからは疫病対策も考えなくてはなりません。古来より、医療従事者の最大の責務は疫病と対峙することです。疫病の感染を防止し、感染者を助け、

愛する家族と自分自身の健康を守ることです。新型コロナウイルスの流行は終息の兆しが無く、2021年度も疫病対策を最優先としながらも、安心・安全・納得の医療を提供していかなければなりません。患者減に対しては医療と接遇のレベルを向上して評判の高い医療機関になること、労働力減に対しては労務環境の改善が大切です。収入減に耐えるための健全な経営状況を維持することも必要です。病院として公衆衛生に貢献しながら、職員の安全と病院の機能を守ると言う極めて難しい対応が求められることとなりますが、全職員の尽力と英知の結集で解決策を見付け、新興感染症による大きな困難を乗り越えていかなければなりません。

## 理念と長期目標

当院の理念は『良質な全人的医療を提供』することとなっています。最近になり、様々な疾患において治療の個別化の大切さが指摘されていますが、当院は開設当初からその重要性を理解した取り組みを継続してきました。患者一人ひとりに対して全人的な医療を提供することが『地域に信頼される内科専門病院』になるためには必要なことと考えています。

そして、当院の長期目標は『Hospitality No.1』の病院になることです。当院には最新鋭の医療機器や潤沢な資金はありません。しかしながら歴史と伝統に裏付けされた、技術者としてだけでなく人間としても優れた医療人が沢山在籍していることが強みです。安心安全で満足度の高い、心が通いあう医療を提供していくことを目標としています。

## 展 望

---

医療人として大切なことは「理想像」をもつこと。医療法人として大切なことは「理念」を大切にすること。両者に共通して大切なことは「倫理観」を保つことです。理想像としての「Hospitality No.1」の病院を目指し、崇高な理念である「良質な全人的医療」を実践し、地域社会への貢献を果たしながら、患者不利益と日本国不利益を回避した最善の診療を行うことにより、創業200年を目指していきます。先人達が築き上げた素晴らしい歴史と伝統を更に良い物に改革し、新たなる風土を醸成し

ていきます。全ての患者さんに「中島病院に来て良かった」と言って頂けるように、病院全体として取り組んでいきます。創業200年である2078年に中島病院が存続し、国民皆健康保険が維持され、日本の医療と福祉の水準が世界一となっていることを信じて、小さな病院こそが頑張っていかなければなりません。

### 病院の基本理念

---

**私たちは、地域に信頼される内科専門病院として、良質な全人的医療を提供いたします。**

## Hospitality No.1

---

病院における Hospitality とは、安心安全な医療が実践できることを基盤として、相手のことを思いやる心を忘れず、対等の目線で、至高の接遇態度を示すこと。

相手だけではなく自分も一緒に、幸せな気持ちになれるような対応をすること。

**「一人を幸せな気持ちにできる人は、すべての人を、そして自分自身を幸せにできる」**

---

令和3年1月4日受稿  
〒708-0052 津山市田町122  
電話：0868-22-8251 FAX：0868-22-8252  
E-mail：g-naka@ra3.so-net.ne.jp